

## 第5コース：薬物動態2 - TDM理解のためにー

講師：長崎大学薬学部 中嶋幹郎 教授、西田孝洋 助教授、和田光弘 助教授、  
大脇裕一 講師  
長崎大学医学部・歯学部附属病院薬剤部 一川暢宏 副薬剤部長、  
北原隆志 薬品試験室室長

Therapeutic Drug Monitoring (TDM) は、安全かつ有効な薬物治療を行うために、薬物動態について個体差の大きな薬物や治療域の狭い薬物に対して個別の用量、用法を求めます。TDMは、血中の薬物濃度測定、得られたデータの薬物速度論的解析及び薬物の投与計画の立案から成っています。薬物動態2ではTDMの理解を深めることを目的とし、演習、実験を交えながら各過程を分かりやすく解説していきます。

### 第1回 「TDMの概念を理解しよう」 9/8(土)

(1) TDMの意義と必要条件、対象となる薬物、採血時間及び測定方法などの基本的な事項についての解説を行います。(2) 患者データを基にベイジアン法を用いた速度論的パラメーターの算出や(3) Excel を用いた血中濃度シミュレーションを実施する予定です。

### 第2回 「TDMを体験しよう」 9/22(土)

HPLC法を用いて、プール血清あるいは実験動物血液中の薬物濃度を測定します。得られた血中薬物濃度データを用いて、TDM解析ソフトにより模擬的に投与量を設定します。最後に得られた結果や課題についての報告会を行う予定です。

### 第3回 「TDMの実際を見てみよう」 10/13(土)

医学部・歯学部附属病院薬剤部において実際に行われているTDMについて見学を行います。実際の臨床症例(検査値、併用薬などを含む)の提示とそれに対する解析法あるいは解析報告の書き方などを学んでいきます。